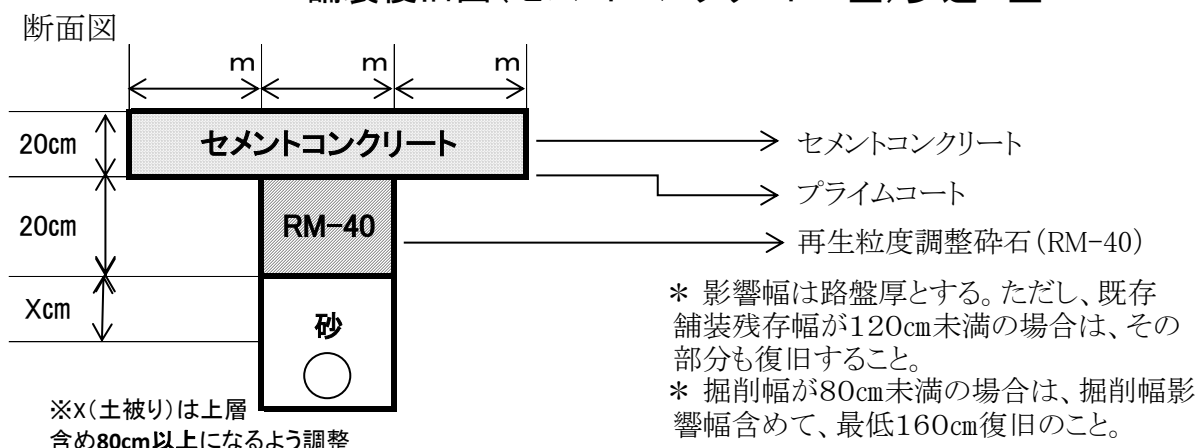


舗装復旧図(セメントコンクリート40型)歩道D型



- 1 舗装切断はカッターを使用し、粗雑にならないよう施工すること。
- 2 埋戻しは原則として砂を使用する。但し、発生材が良好なる場合は、道路管理者の指示に従い使用することができる。
- 3 各層は、30cm(路床部にあつては20cm)以下ごとに充分転圧をすること。
- 4 再生粒度調整碎石 (RM-40)を充分転圧後20cm厚に仕上げること。
- 5 既存路盤は、欠損部分のみ補充すること。
- 6 セメントコンクリートを充分転圧後20cm厚に仕上げること。
- 7 カッター部分のつなぎめは、シーコートにて仕上げること。
- 8 本復旧後の表示マークを路端に記すること(仮復旧後は、「仮」も併記すること)。
 マーク例示 水道=W 下水道=D 東電=E
 NTT=T ガス =G
- 9 工事については、下記のとおり施工写真を撮り、工事竣工届に添えて提出すること。

- | | |
|-------------|-------------------|
| (1) 施工前 | 1枚 |
| (2) 掘削時 | 1枚(掘削幅がわかるように) |
| (3) 占用物件の状況 | 1枚(埋設位置がわかるように) |
| (4) 埋戻し状況 | 1枚 |
| (転圧時) | 1枚 |
| (5) 路盤施工 | 各1枚 |
| (6) 舗装施工 | 各1枚 |
| (7) 完了後 | 1枚(舗装復旧面積がわかるように) |